COLUMN コラム

萩原　智子



寒い冬が続いていますが、皆さんお元気でお過ごしでしょうか。く暖かい春が待ち遠しいですね。

厳しい寒い冬と言えば、山梨の郷土料理「ほうとう」を思い浮かべます。小さい頃から、母が大きなお鍋に作ってくれました。そのお鍋をみんなで囲んで、フーフー言いながら食べるのが、今でも楽しみです。

それぞれの家庭によって、ほうとうに入れる具材は違うと聞いたことがあります。我が家は、ほうとうの王道なのでしょうか（笑）豚肉、かぼちゃ、白菜、大根、人参、里芋、ごぼう、ねぎなど、たくさんの野菜とほうとう麺、甲州味噌で一緒に煮込みます。

競泳の現役時代、実は試合の前にも食べていました。炭水化物である麺、タンパク質の豚肉、緑黄色野菜の南瓜など、ひとつのお鍋で栄養価の高い食事ができるのです。しかも体が内部から温まる・・・これぞ、アスリートご飯！と言いたくなるほど。

それもそのはず、昔、山梨県の地形や気候、収穫できる農作物なども考慮して、武田信玄公が戦の際の陣中食として採用していたと言われています。戦いに行く前に食べることで、力が出る食事。そして、心がホッとするほうとうは、みんなから愛される郷土料理でもあり、勝負食としても最高の料理ですね。あ～また食べたくなってきた！

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　日本水泳連盟理事
　　日本マスターズ水泳協会理事
　　2020年東京オリンピック・
　　パラリンピック競技大会組織委員
出 身 地　山梨
出身校　山梨学院大学付属高等学校
　　山梨学院大学
　　山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。

きれい甲斐

No.87 FEBRUARY 2020

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 ✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ パートナーシップやまなし 検索
発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム開催中止のお知らせ

環境パートナーシップやまなしでは、県内で環境保全活動を行っている個人・団体・企業等の情報交流とネットワークづくりの推進を図ることを目的に、例年、（公財）やまなし環境財団との合同により、「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を開催しておりますが、国内における新型コロナウィルス感染症の感染者増加に伴い、今年度につきましては、開催を中止することとしました。

つきましては、当日実施を予定しておりました若宮賞表彰式、やまなし環境財団感謝状贈呈式、やまなし環境美化推進ポスター・標語コンテスト表彰式について、本誌にて受賞者をご紹介させていただきます。

若宮賞受賞者

受賞者（団体）	功績内容
みずうみ	廃油を利用した石鹸、エコバッグなどのエコ商品の展示や作り方の講習を行うとともに、着物やネクタイなどから作った小物入れの販売やリメイクした着物を用いたファッションショーを開催するなど女性の知恵と力で3Rの実践に取り組んでいる。
八ヶ岳南麓　原生花保存会	地域原生の草花などの生育域を保全するとともに、原生種の育成管理手法を活用した地域の遊歩道等の整備を行うなど、人と自然が共存する持続可能な美しい地域づくりに向けた取り組みを行っている。

やまなし環境財団感謝状 受賞者

•マックスバリュ東海株式会社
•イオンリテールストア株式会社イオン大月店
•イオンリテール株式会社イオンスタイル甲府昭和

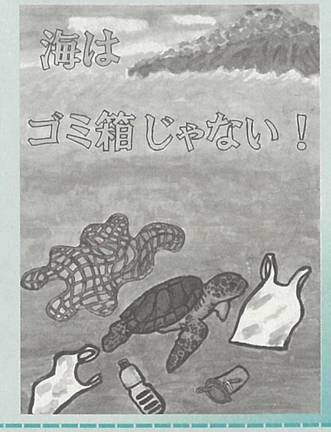
「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づき、レジ袋の無料配布中止を実施されています。この度、有料レジ袋の収益金の一部をご寄附いただきました。

令和元年度
やまなし環境美化推進ポスター・標語コンテスト 優秀賞受賞者

ポスター部門



＜小学校低学年の部＞
甲府市立千塚小学校　1年
沓掛　真瑚さん



＜小学校高学年の部＞
甲州市立井尻小学校　5年
廣瀬　凌輔さん



＜中学校の部＞
身延町立身延中学校　2年
齊藤　瑞姫さん



＜高等学校の部＞
駿台甲府高等学校　1年
糠信　侑里さん

標語部門

＜小学校低学年の部＞
『山なし　ゴミなし　ぶちゃっちょし』
笛吹市立石和南小学校　3年　笠原　心愛さん

＜小学校高学年の部＞
『ゼロにしよう　食べきり推進　フードロス』
甲斐市立敷島北小学校　5年　長澤　俊介さん

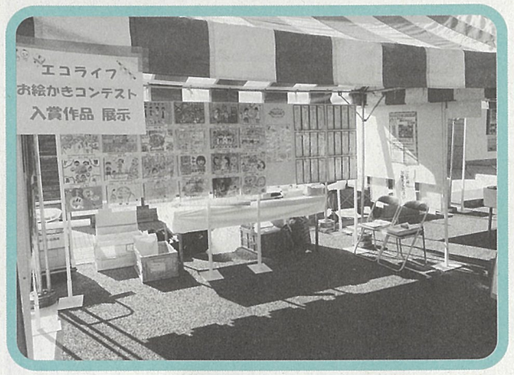
＜中学校の部＞
『3R　捨てる前に　再確認』
富士川町立増穂中学校　2年　佐野　七葉さん

＜高等学校の部＞
『3つのR　意識をすれば　救える未来』
山梨県立高等支援学校桃花台学園
2年　小松　蓮弥さん

県民の日記念行事に出展しました

11月16日、17日の両日、小瀬スポーツ公園で開催された「県民の日記念行事」に環境パートナーシップやまなしが出展しました。

環境広場に設置した環境パートナーシップやまなしのブース内では、両日にかけて「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2019」の入賞作品を展示するとともに、マイクロプラスチックによる海洋ごみ問題など、今話題となっている環境問題についての普及啓発を行いました。



入賞作品の展示



マイクロプラスチック問題の展示や
マイバッグ等の啓発品の配布

エコライフお絵かき・川柳コンテスト2019の表彰式を実施しました

「エコライフお絵かき川柳・コンテスト」の表彰式を、11月16日（土）午前11時50分から、県民の日の会場（県民の日 ステージ）において開催しました。

当日は、ご家族や多くの来場者が見守る中、最初は緊張した面持ちだった受賞者の皆様でしたが、授与後は思わず笑顔がこぼれていました。

式の冒頭に、主催者代表の坂本会長から、「エコライフの絵を描くことで学んだことを、家族や友達と一緒に広めていってほしい」と挨拶がありましたとおり、この取り組みをきっかけにエコライフの輪が広がっていく、そんな期待にあふれた表彰式でした。



冒頭、坂本会長から挨拶がありました



賞状授与の様子